

- 問1 川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 砂や礫が積みもり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。 | 2. 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してできた水はけの悪い低地となっている。 | 3. 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。 | 4. 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並ぶ工業地域となった。 |
|---|---|--|---|
- 問2 中部地方で1960年代に自動車工業が急速に発展した背景について述べた文として、最も適切なものを選んでください。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 内陸の広大な土地にシリコンロードと呼ばれる高速道路網が整備され、IC（集積回路）の安定供給が可能となった。 | 2. 高度な技術を持つ伝統工芸の職人が、すべて手作業で部品を組み立てる多品種少量生産の体制を確立した。 | 3. 1990年の入管法改正にともない、労働力として多くの日系外国人が南米から移住してきたことで人手不足が解消された。 | 4. 製鉄所や石油化学コンビナートが近隣に立地し、自動車の製造に必要な鉄鋼やプラスチックなどの材料を確保しやすかった。 |
|--|---|---|---|
- 問3 飛騨山脈を含む「日本アルプス」と呼ばれる地域の地形的な特徴や位置関係について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選んでください。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 標高3000メートル級の火山が円状に並び、その中心部には大規模な盆地が形成されている。 | 2. 北から順に飛騨、木曽、赤石の各山脈が南北方向に連なり、日本の屋根を構成している。 | 3. 北海道の中央部を南北に貫く山脈であり、冷涼な気候を利用した大規模な酪農が行われている。 | 4. 長野県と新潟県の県境を東西に走る険しい山脈であり、冬の季節風を遮る役割を果たしている。 |
|--|---|--|--|
- 問4 日本の高速鉄道網である新幹線は、全国各地を結び地域の発展に寄与していますが、すべての県に路線が通っているわけではありません。東北地方の青森県、北陸地方の石川県、九州地方の鹿児島県にはすでに新幹線の駅が設置されていますが、これら3つの県とは異なり、現在、新幹線の路線が通っておらず、駅も設置されていない県はどこですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 青森県 | 2. 山梨県 | 3. 鹿児島県 | 4. 石川県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問5 日本の気候と伝統的な生活に関する記述として、北西の季節風の影響を強く受ける地域で見られる「合掌造り」の住居の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|---|
| 1. 火山灰の堆積を防ぐために、屋根を滑りやすい瓦で覆い、傾斜を緩やかにしている。 | 2. 季節風による火災の延焼を防ぐため、周囲を厚い土壁で囲んだ倉庫のような構造にしている。 | 3. 冬の積雪の重みに耐えるため、太い梁と急な角度の屋根を備えている。 | 4. 風通しを最優先し、壁を少なくして床を高く上げることで、夏の暑さを凌いでいる。 |
|---|---|-------------------------------------|---|
- 問6 中部地方には、日本の屋根と呼ばれる標高3000メートル級の山々が連なる地域があります。このうち、北陸新幹線の福井駅から軽井沢駅へと向かう路線の近傍に位置し、「北アルプス」の別名でも知られる険しい山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 赤石山脈 | 3. 木曽山脈 | 4. 日高山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 北陸地方の都道府県と県庁所在地の組み合わせについて説明した次の文のうち、石川県に該当する都市を選択してください。なお、その都市は能登半島の付け根付近に位置し、中部地方の日本海側を代表する都市の一つです。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 金沢市 | 2. 福井市 | 3. 富山市 | 4. 長野市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 新潟県の工業において、化学工業と食品工業の出荷額割合が高い背景を説明したものとして、最も適切な内容を選択してください。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大規模な水力発電による安価な電力を利用したアルミニウム製錬と、果実栽培を活かした飲料製造が結びついたため | 2. 沿岸部の石油化学コンビナートによる製品製造に加え、豊かな農産物を原料とした加工業が発達しているため | 3. 高速道路網の整備により、内陸部に電子部品の工場が進出し、それらを活用した食品包装機械の製造が盛んなため | 4. 中京工業地帯の延長として自動車産業が拡大し、関連する化学素材の供給と労働者向けの食料供給が定着したため |
|---|--|--|--|
- 問9 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせを選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 木曽山脈、飛騨山脈、赤石山脈 | 2. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈 | 3. 赤石山脈、木曽山脈、飛騨山脈 | 4. 飛騨山脈、赤石山脈、木曽山脈 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
- 問10 日本の中央部に位置する中部地方には、標高3,000メートル級の山々が連なる3つの山脈があり、これらは総称して「日本アルプス」と呼ばれます。このうち、最も南側に位置し、険しい地形と多い降水量を活かして古くから林業が盛んに行われてきた山脈の名称として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 赤石山脈 | 3. 奥羽山脈 | 4. 木曽山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 静岡県から愛知県にかけての太平洋沿岸部において、農業産出額の内訳をみると野菜の割合が非常に高いという特色があります。このように、大消費地である都市に向けて野菜などを生産して出荷する農業形態を何といいますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 自給的農業 | 2. 園芸農業 | 3. 近郊農業 | 4. 穀物農業 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問12 日本の気候区分のうち、北西からの季節風の影響を受けて冬の降水量（降雪量）が多くなる日本海側の気候の特徴を表した雨温図の記述として、最も適当なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 夏にあたる6月から8月にかけて降水量のピークがあり、冬は乾燥して雨が少ない。 | 2. 年中を通じて雨が少なく、どの月の降水量も100mm未満にとどまる。 | 3. 12月から2月にかけての冬の時期に、月別の降水量が年間の中でも特に多くなる。 | 4. 年間を通じて降水量の変化が少なく、毎月の降水量がほぼ一定である。 |
|---|--------------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問13 中部地方の内陸部に位置する「中央高地」の地形的特徴とその利用について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 飛騨山脈などの火山が連なる高原地帯であり、水はけの悪い土地を利用して茶の栽培が盛んに行われている | 2. 赤石山脈から流れる川の河口付近に広がる広大な三角州を利用して、水はけのよさを活かしたブドウの栽培が行われている | 3. 飛騨・木曽・赤石の3つの山脈に囲まれた盆地が点在し、山沿いの扇状地では果樹園が多く見られる | 4. 日高山脈などの険しい山々に囲まれた盆地が多く、扇状地では機械化による大規模な米作りが行われている |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。	川が山地から平地へ出たところに形成される扇状地は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下に浸透しやすい「水はけが良い」という性質を持っています。そのため、水が必要な稲作（水田）にはあまり向かず、果樹園や養蚕のための桑畑として利用されてきました。選択肢にある「川の最下流部」にできる地形は三角州であり、扇状地とは形成場所や性質が異なります。
問2	答え 4 製鉄所や石油化学コンビナートが近隣に立地し、自動車の製造に必要な鉄鋼やプラスチックなどの材料を確保しやすかった。	1960年代の高度経済成長期、中部地方（特に中京工業地帯）の沿岸部には製鉄所や石油化学コンビナートが次々と建設されました。これにより、自動車の主材料となる鉄鋼や樹脂、タイヤの原料などを近隣から効率よく調達できる体制が整い、工業の発展を支えました。なお、日系外国人の労働者が増加したのは1990年の入管法改正以降であり、1960年代の状況とは異なります。
問3	答え 2 北から順に飛騨、木曽、赤石の各山脈が南北方向に連なり、日本の屋根を構成している。	中部地方に位置する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈は、いずれも南北方向に伸びる高い山脈です。これらは北から「ひ・き・あ」の順で並んでおり、その陰しさから「日本の屋根」と称されます。日高山脈は北海道にある山脈であるため、この地域の説明としては不適切です。
問4	答え 2 山梨県	青森県（東北新幹線・北海道新幹線）、石川県（北陸新幹線）、鹿児島県（九州新幹線）には、それぞれ新幹線の路線と駅が存在します。一方、山梨県は隣接する静岡県を東海道新幹線が通っていますが、山梨県内には新幹線の路線自体が通っておらず、駅も設置されていません。ただし、将来的に「リニア中央新幹線」の駅が設置される予定があることが、地理上の大きな特徴です。
問5	答え 3 冬の積雪の重みに耐えるため、太い梁と急な角度の屋根を備えている。	合掌造りが発達した地域は、冬の北西の季節風によってもたらされる雪が数メートルに達することもある世界有数の豪雪地帯です。湿った雪は非常に重いため、家屋が損壊しないよう急な傾斜の屋根にして雪を落とすだけでなく、内部には太い柱や梁を用いた強固な骨組みが作られています。このような住居が密集する集落は、日本の伝統的な景観として重要視されています。
問6	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つの山脈が並んでおり、これらを総称して日本アルプスと呼びます。北陸新幹線のルートは、石川県や富山県といった日本海側の地域から長野県の内陸部へと抜ける際、最も北側に位置する飛騨山脈の裾野を通る形になっています。日高山脈は北海道に位置する山脈であるため、位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問7	答え 1 金沢市	中部地方の日本海側に位置する北陸3県（石川、富山、福井）のうち、能登半島を持つのが石川県です。富山県の県庁所在地は富山市、福井県の県庁所在地は福井市であり、石川県の県庁所在地である金沢市と混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 2 沿岸部の石油化学コンビナートによる製品製造に加え、豊かな農産物を原料とした加工業が発達しているため	新潟県では、かつて石油や天然ガスが産出された歴史から、新潟市や上越市などの沿岸部に石油化学コンビナートが形成され、化学工業が発展しました。また、信濃川などがもたらす肥沃な平野で生産される米を原料とした、せんべいなどの米菓や日本酒などの食料品加工が盛んであることも、この県特有の工業構造を作り出しています。
問9	答え 2 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈	日本アルプスは北から順に、北アルプスと呼ばれる「飛騨山脈」、中央アルプスと呼ばれる「木曽山脈」、南アルプスと呼ばれる「赤石山脈」の3つから構成されています。これらは大規模な地殻変動によって形成された、日本で最も険しい山岳地帯です。
問10	答え 2 赤石山脈	赤石山脈は「南アルプス」とも呼ばれ、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）とともに日本アルプスを構成しています。太平洋に近い場所に位置するため、湿った空気の影響で降水量が多く、豊かな森林資源を背景とした林業が地域の伝統的な産業となっています。
問11	答え 2 園芸農業	中部地方の太平洋側は、東京や名古屋、大阪といった大都市圏の中間に位置しています。この立地条件と発達した交通網を活かして、都市の需要に応じた野菜や花などを生産し、付加価値を高めて出荷する園芸農業が発展しました。
問12	答え 3 12月から2月にかけての冬の時期に、月別の降水量が年間の中でも特に多くなる。	日本海側の気候では、冬に湿気を含んだ北西の季節風が山脈にぶつかるため、12月から2月などの冬の時期に多くの雪や雨が降ります。そのため、雨温図では冬の降水量のグラフが高くなります。
問13	答え 3 飛騨・木曽・赤石の3つの山脈に囲まれた盆地が点在し、山沿いの扇状地では果樹園が多く見られる	日本の屋根とも呼ばれる中央高地には、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）からなる日本アルプスがそびえ立っています。これらの険しい山々に囲まれる形で長野盆地や甲府盆地などの盆地が点在しています。盆地の縁には、川が山地から平地へ出るところに土砂が堆積してできた「扇状地」が発達しています。扇状地は稲作には不向きな水はけのよい土地であるため、果樹園としての利用が非常に盛んです。日高山脈は北海道、茶の栽培は主に静岡県や鹿児島県、三角州は河口付近の低地であるため、中央高地の説明としては不適切です。